



2023年度 年主題「ともにつむぎだす～希望の中で～」

0・1・2歳児 2月主題「だいすき/またあした」

月のねがい

- ◎保育者と一緒に祈ろうとする。
- ◎保育者や友だちとやりとりをしながら、模倣遊びを楽しむ
- ◎友だちの思いに気付いて楽しく遊べるように考える。
- ◎自然の不思議さや面白さに気づき、楽しむ。

3・4・5歳児 2月主題「わかちあう」

月のねがい

- ◎礼拝を喜び、生活の中で自分から賛美したり祈ったりする。
- ◎子ども同士で遊びを分かち合い、試行錯誤を楽しむ。
- ◎互いの存在を認め何でも言いあえる関係の中で、心踊らせながら遊びを深めていく。
- ◎冬の自然の中にも次の季節への備えを知る。



気持ちに寄り添う

いよいよ明後日はおゆうぎ会です。本番はどんな表情や姿を見せてくれるのかお楽しみに！☆  
おゆうぎ会のおけいこ中、部屋ではノリノリなのに舞台上になると緊張してしまつ子どももいます。“他の人に見られている＝ドキドキする”という気持ちの調整が生まれる瞬間でもあります。0,1歳児のクラスでは「○○の～」と、玩具を独り占めしたいのに言葉が上手に話せない分、取り合いで手や口が出てしまうこともまだまだ多い日々です。先日、「○○の～」と玩具の取り合いが始まりました。「Aの!!」「Mの!!!」「Aの!!!」と言い合いと手の動作がヒートアップしていたところで突然、言い合いをしていたM君が「きゅうちよく!!」と言い出したのです(笑)。M君は、Aちゃんの気をそらそうと“給食”のワードを出したのでしょうか？それでもAちゃんは、「Aの!!」と主張し続けます。「そうだね、Aちゃん遊んでいたもんね、M君も遊びたいんだよね。でも、もう給食の時間だね。お片付けの時間だ。」と言い合いしていた二人気持ちをまとめて伝えてあげると、怒っていた気持ちはどこへやら??ニコニコしながら玩具を保育者に渡してくれました。  
日々、様々な感情の中で過ごしている子どもたち。その気持ちを受け止め、寄り添い、相手の気持ちにも気付いたり、受け入れられるようになったりと、感情(心)の成長も一緒に楽しんでいけたらと思います。  
おゆうぎ会が終わったら、少しづつ進級の準備が始まります。ここでは、“楽しみ”と“不安”の葛藤が生まれます。その一つ一つの気持ちに寄り添い、子どもたちが憧れを持って進級準備ができるよう援助していきたいと思います。  
主任:伊豆元

今月の聖句

「平和をつくる者は幸いです」

マタイ福音書5:9

「平和をつくる者」という言葉は、元々ローマ帝国が栄えた時代の皇帝に対して使われたものでした。つまり、力で全てのものをねじ伏せ、敵対者を黙らせることによって戦争や争いのない世界を作り出す権力者、それが「平和をつくる者」という言葉の本来の意味でした。  
私たちが生きていく時代は、激動の時代、混沌とした時代です。これまで絶対だと思われていた民主主義が揺らぎ始め、覇権主義が台頭始めています。新型コロナウイルスが最初に発見された中国は、覇権を握る国家主席の絶対的力によってコロナ感染を抑え込むことに成功しました。片や民主主義のアメリカでは117万の方々がコロナによって命を落としました。覇権主義がトップダンスにスピーディな対応が出来るのに対して、民主主義は民意を問う分時間がかかってしまうのが要因だと言われています。民主主義をうたった国家の中でも、アメリカのトランプ前大統領や、ロシアのプーチン大統領など、覇権的な振舞いを前面に出す指導者もいて、又、国民からも一定の支持率を誇っています。力、富、強さ、それらのものが覇権主義であれ民主主義であれ、根底に流れているのです。  
それに対して、この言葉を発したイエス・キリストは、その真逆な道を歩み、それによって平和を実現しようとなさいました。力ではなく対話の中に、富ではなく貧しさの中に、強さではなく弱さの中に、人が本当に平和を見出し、作り出すことが出来る道を示されました。それが主イエス・キリストの歩まれた十字架の道だったのです。  
協力牧師 池田基宣

募金のお礼とお知らせ

先般実施しましたお年玉募金にて、58,935円集まりました。今回は能登半島地震の復旧のために役立てられるように適切な支援機関へ送金させていただきます。皆様のご協力に心から感謝致します。



2月の行事予定

3日(土)	おゆうぎ会
5日(月)	振替休日(1号)
6日(火)	卒園記念写真撮影
7日(水)	2・3月生誕生会(2才以上)
14日(水)	参観日(くじらグループ)
15日(木)	参観日(いるかグループ)
16日(金)	参観日(あい組)
21日(水)	お別れ遠足・弁当日
24日(土)	めぐみ組誕生会(1~3月生)

3月の行事予定

2日(土)	第66回卒園式・父母会総会
6日(水)	給食バイキング
12日(火)	弁当日
16日(土)	ひかり組参観日
18日(月)	修了式(1号午前保育)
29・30日	休園日(新年度準備の為)



平和をつくるもの 寄り添う心  
とても寒い日があれば、また暑い日もある。衣服の調整に気をもむ日々が続いておられます。めいろうにある名も知らぬ夏みかんは、順調に熟してきており、みかん狩りも楽しみます。また、週末のおゆうぎ会も子どもたちが楽しんで表現してくれることを願っております。  
更生保護の機関誌でピアリストの西川悟平さんのエッセイを目にしました。東京パラリンピックの閉会式でグランドフィナーレを演奏されたので、ご存じの方もおられるかと思えます。ニューヨークで活動中の厳冬の夜更け、マンハッタンに突然二人組の強盗が押し入りました。当然、恐怖に凍り付いたなかかわらぬ、彼は二人の生い立ちに興味を持ち、勇気を出して問いかけました。なぜこんなことをしなければならなかったのか、どんな子ども時代を過ごしたのかと。一人が眠みながら「父親に虐待を受け、母親は麻薬中毒。そして両親に捨てられたホームレスになった。お前に親に捨てられた痛みが分かるか？」と答えました。それを聞いた西川さんは涙が止まらなくなり、「たいしたものは無いけど、欲しいものは何でも持つていっていいよ」と言い、彼らに美味い緑茶を淹れました。それから少しづつ緊張が解け、強盗の一人が偶然、その日誕生日だったことを知り、西川さんは、ピアノで「ハッピーバースデー」を弾いたのです。すると、彼は泣き出し、「自分の誕生日を祝ってもらったのは初めてだ」と喜んだそうです。明け方、彼らは何も盗らない上に、故障していた暖房機まで直して立ち去ったのでした。「鍵は掛けとけよ」という捨て台詞を残して。  
約一年後、西川さんはカーネギー大ホールで演奏する夢を叶えます。そして同時に、「俺たちは招待されるのかい？」というメールが届きました。そう、あの夜の訪問者の二人です。実は彼らが立ち去る前に、西川さんは二つの約束をしました。一つ目は、警察に通報しないこと。二つ目は、いつかカーネギーホールで演奏する日が来たら、必ず彼らをVIPとして招待すること。約束したものの、少々怖くなり、プロデューサーに相談すると、「相手は誰であろうと、約束は守るべきだ。最高席を用意するよ。」その後、彼らは事業で成功し、互いに連絡を取り合う仲となったそうです。西川さんは十五歳でピアノを始めた遅咲きのピアリストです。ニューヨークでキャリアを積む中で、突然「局所性ジストニア」という病気になる、ほとんど指が硬直して動かなくなる障害を負うことになりました。その後の努力で少しずつ動かせるようになり、「七本指のピアリスト」として大いに活躍されています。彼のような人の痛みに寄り添える人こそ「平和をつくるもの」と呼ばれるのでしょうか。  
次節に日差しや肌に触れる風が心地よくなっていくでしょう。おゆうぎ会が終わると、全部の演目をみんなど一緒に活動を楽しみます。小さい子どもたちが、他の表現の動きをよ活動で導くためにいつも驚かされます。この主体的で自由な活動で、残り少ない三学期を思う存分楽しんでいきます。  
学園長

今日はどこまで？

寒い日が続いている中でも、子どもたちは外遊びが大好き！。鼻水を出しながらも体をいっぱい使って元気に遊んでいます。  
2月を迎えると、卒園式まで一気に進んでいきます。そして進級・進学準備に入っていきます。  
今回は、私の子育ての失敗談を書かせていただきます。3番目の子どもが小学生になったばかりの時、朝、家を出てから「おかあさん。お姉ちゃんたち行っちゃった～。遅刻する～！」と泣きながらよく訴えていました。経験の少ない子どもは見通しが立たないと動けなくなってしまいます。3番目だから大丈夫だろという思いは打ち砕かれ、そんな息子の姿に、私は当時あたふたとしたものです。  
息子にとっては、初めての事だらけで不安がいっぱい。どうしようもなかったのだと思います。自分にもう少し余裕があれば良かったのに、仕事もしていましたので、「大丈夫だから、行きなさい！」と言って強引に送り出していました。情けない母親で反省するばかりです。  
そこで、子育て中の保護者の方々にお願いします。お子さんと、時間を作って散歩をしてみてください。「今日は、公園まで歩こうね。」「今日は小学校

まで歩こうね」。目的地を決めて歩くことで、見通しを持って行動する経験に繋がります。途中の風景を楽しんだり、交通マナーを確認したりしながら散歩することで、入学してから1人で歩いて登校するという大きな課題も、早めにクリアしていくことができるのではと思います。  
小学校はまだまだだからと思っていられる保護者の方がいましたら、散歩を楽しむ体作りのためにも是非子どもたちと散歩をしてみてください。歩くことが気持ちよと感じることは、ドーパミンというホルモンが分泌され、幸福感を作るとともに、精神力も高めると言われます。便秘気味の方は、体も作られることによって、便秘も防ぎます。爽やかな風に皮膚が触れると、自律神経が刺激されその働きが強まることによって、風邪もひきにくくなります。  
イヤイヤではなく、楽しんでする事で、幸せを感じ、子どもの健やかな成長に通じていくのだと思います。お子さんの健康のため、また、ご自分の健康のためにも、どうぞ試していただけたら幸いです。  
園長

